

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

I 概況

令和5年度も、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体であるとの理念の下、県内各単位会との連携協調を図り、事業活動においては事業の公益性を常に意識し、広く県民の皆様に向けた税知識の普及・啓蒙を図るとともに、税制に関する提言活動、税に関する広報事業、租税教育活動、等の法人会活動の原点である「税」に軸足を置いた各施策に取り組むことにより、法人会としての社会的役割を果たすことができました。

組織基盤の強化については、174社の新規入会があったものの、290社の退会があり結果として116社の減少となり令和5年12月末の会員数は8,889社となっている。(令和6年3月実績は8,871社で対前年111社の減少)その中で、3単位会においては純増していただき、特に徳山周南法人会においては、令和6年3月末で13社の純増を図っていただいた。

財政基盤の拡充に関しては、福利厚生制度の推進において加入企業数に着目した「Challenge100キャンペーン」を中心に協力保険3社との連携強化のもと、11単位会が一丸となって取り組み一定の成果をあげることができた。

II 主な事業活動

1. 税を巡る諸環境の整備改善等を図ることを目的とする事業

(1) 税制提言事業

① 税制改正への提言

令和5年6月1日(木)に開催された税制委員会において、令和6年度税制改正に関する検討テーマに基づき協議、検討を行うとともに、各単位会で実施された税制改正アンケート調査結果に基づいて税制改正要望事項について取りまとめ、山口県連としての令和6年度税制改正提言事項を作成し全法連へ提出を行った。

② 提言活動の実施

令和5年9月19日(火)に開催された全法連第47回理事会で決議された、「令和6年度税制改正に関する提言」の実現に向けて、県連と各単位会が一体となり、11月から12月にかけて地元選出の国会議員、県内の各自治体の首長等に対して県連・単位会の役員及び税制委員が提言活動を実施した。

(2) 広報事業

「税を考える週間」を中心に、広く県民の皆様に向けた税知識の普及、納税意識の高揚を図ることを目的に新聞広報、ラジオ広報(情報番組への生出演による広報活動)、県内各商工会議所の会報への法人会チラシの差込等の広報活動を実施した。

① 新聞広報の実施

「税を考える週間」に令和6年度税制改正に関する提言と法人会活動を紹介した広告を毎日新聞、読売新聞の2紙に掲載した。

② ラジオ広報の実施

各単位会から11名の方々に、山口放送、FM山口のラジオ番組に生出演していただき、広く県民の方々に税に関する啓蒙とともに、それに係る法人会活動の関わり等について広報活動を行った。またラジオ番組内において「税金クイズ」を実施し県民の皆様から多数の応募をいただき、好評を得ることが出来た。

また、国税庁及び全国納税貯蓄組合連合会が主催し全法連が後援する「税に関する作文」の県内優秀作品5編を「税を考える週間」に山口放送のラジオ番組内でアナウンサーによる朗読を実施し、中学生、高校生の皆さんが感じている税のあり方を通じて広く一般の方々に税に関する啓蒙活動を行った。

③ 商工会議所会報への法人会チラシの差込

県内 14 の商工会議所が発行している会報に法人会のチラシ約 2 万 5 千部の差込を実施し、法人会についての PR と入会の案内を行った。県内の法人会員数が約 9000 社であり、約 1 万 6 千社の法人会未加入の企業（個人事業主も含む）に対して PR ができた。

(3) 講演会事業

県連としての令和 5 年度の講演会事業の実施を計画していた、第 25 回「山口県青年の集い」岩国大会では、エレガント・マナースクールの平林 都氏を講師に招き、『管理職向けの人材マネジメント研修』と題して記念講演会を開催した。

(4) 法人会支援事業

① 研修活動の充実

研修活動は、会員、非会員を問わず自己啓発を支援することを目的に法人会において極めて重要な事業であり、研修委員会を令和 5 年 9 月 22 日（金）に開催し、研修参加人員の増加、研修参加率の向上に向けた協議を行うとともに、これからの研修活動の展開について協議を行い、インターネットセミナーやオンライン会議の取組状況について報告いただいた。

県内各単位会では、新型コロナウイルスをきっかけとして、インターネットセミナーやオンライン会議の開催、地元ラジオを活用した研修会の取り組み、参考図書 の配布等、新たな研修事業に向けた取り組みが行われており、研修活動の更なる充実に取り組むものとする。

② 広報活動の充実

第 2 回広報委員会を令和 5 年 8 月 22 日（火）に開催し、広く県民・市民の方々に対する税の啓発・啓蒙、法人会の知名度向上を図るための広報施策について協議を行った。令和 5 年度の広報活動としては、新聞広報（全国紙のみに限定）のほか、すべての単位会より、ラジオにご出演していただき、法人会の活動や「税を考える週間」について PR していただいた。また、新たな取組として県内 14 の商工会議所の会報に法人会チラシ約 2 万 5 千部の差込を実施した。

今後の広報活動のあり方として、これまで通りの新聞媒体や TV 媒体に頼った広報では、広報活動の成果の検証をすることが難しいことから、検証可能な SNS や YouTube などの Web 媒体を活用し、若年層への浸透も意識した活動に取り組んでいく。

2. 会員増強・会員支援及び会員の福利厚生等に資する事業

(1) 会員増強活動の状況

会員増強活動については、法人会活動を充実させるためには組織基盤強化が重要であることから、組織委員会が中心となり会員数の増加に取り組んだ。その結果、令和 5 年 12 月末の会員数は、8,889 会員となり、対前年 116 会員の減少となった。令和 6 年 3 月末の速報値は 8,871 会員となり、さらに 18 会員の減少となっている。その中において、徳山周南法人会・柳井法人会・萩法人会は 12 月末締め、3 月末締めのいずれにおいても対前期増加を図っていただいております、会員の増強活動が年間を通して推進されている。

(2) 福利厚生制度の推進

法人会の財政基盤をより強固なものにするために、福利厚生制度の推進は避けられず、とりわけ、50周年キャンペーン後の推進施策として「加入企業数」に着目した福利厚生制度加入企業キャンペーン“Challenge100”が実施された。厚生委員会を中心として全会一丸となり協力3社との連携を一層強化した取り組みが展開された。Challenge100キャンペーンでは苦戦を強いられたが、保険料収入実績において大型総合保障制度が表彰対象となり、さらに大型総合保障制度の役員企業加入率と高成長を長期間維持している県連として表彰される見通しである。

また、収入保険料が対前年103%以上と顕著な成果を挙げた単位会表彰においては、柳井法人会、徳山周南法人会、光・熊毛郡法人会の3会が受彰する見通しである。

(3) 貸倒保証制度及び書籍・図書等販売委託事業

全法連において会員向け支援事業として推進されている貸倒保証制度の令和5年度の新規保険料額は、806,130円であり、契約のあった2会（徳山周南法人会、防府法人会）に対して事務手数料として16,123円の支払いを行った。

書籍・図書等販売委託事業は、大蔵財務協会が販売する税のしるべ及び書籍販売に関する事務手数料と新日本法規出版(株)が販売する図書等の斡旋販売に関する事務手数料の取りまとめを行い、事務手数料として各会に総額61,123円の支払いを行った。

(4) 研修会・講演会等の開催

- ① 令和5年6月22日に、広島国税局の課税第二部次長の足立道夫氏をお招きし、記念講演会を開催した。

開催日	令和5年6月22日（木）
場 所	ホテルサンルート徳山
テーマ	『税務を起点としたDX』
講 師	足立 道夫 様 (広島国税局 課税第二部 次長)
受講者	110名

(5) 青年部会、女性部会の主催事業

法人会の主要事業である租税教育活動の中心部会として、青年部会では県内の135校（昨年度実績131校：+4校）、253クラス（昨年度実績204校：+49クラス）で「租税教室」が開催された。また財政健全化に向けた健康経営プロジェクトへの取組をテーマとして中国5県青連会長会議が岡山市で開催され、県連青連協会長が参加され法人会版の健康経営プロジェクトの推進について議論が深められた。

女性部会においては「絵はがきコンクール」の実施を主要事業に、税の重要性について未来を担う子供達に伝える大きな役割を果たすとともに、情報交換を活発化させ租税教育に対する積極的な活動が展開された。また、令和5年度の税に関する絵はがきコンクールについては、各会女性部会員の皆様の熱心な取り組みの結果、県内の参加校数186校、応募作品は5,520作品と参加校数・応募作品数ともに過去最高を記録した。

青年部会及び女性部会の会員数は、青年部会397会員（対前年25会員の減少）、女性部会354会員（対前年14会員の減少）となっており、会員数の減少が喫緊の課題となっている。

(6) 女性部会連絡協議会主催事業

令和5年8月29日(火)に、第15回「租税教育活動シンポジウム」萩大会が萩法人会の主管で開催された。シンポジウムにおいては、萩博物館統括学芸員、萩・明倫学舎総括学芸員の道迫 真吾氏による「吉田松陰の妹 杉 文の実像～幕末・明治・大正を生きた可憐な一輪の花～」と出した講演会、その後会員交流会が行われた。(参加者数 153名)

令和5年12月4日(月)に開催された女性部会定時連絡協議会では、「絵はがきコンクール」の山口県代表作品の選出が、昨年に引き続き外部からの選考委員として、絵の専門家としてイラストレーターの先生、また税務当局より税務広報広聴担当官の二名の方に加わっていただき選考会が実施された。

(7) 青年部会連絡協議会主催事業

第25回「山口県青年の集い」岩国大会が令和5年9月15日(金)、岩国法人会青年部会の主管で開催された。マナー講師でエレガント・マナースクール代表の平林 都氏を講師としてお招きして「管理職向けの人材マネジメント研修」と題とした講演会が開催された。また、租税教育アワーにおいては各単位会による租税教育の活動状況の発表会が行われた。(参加者数 118名)

(8) 会員向けサービスについて

法人会会員の皆様に向けた会員サービスとして、PET検診割引サービス、無料法律相談サービス、自主点検チェックシートの活用による金利優遇サービス等のサービスの提供が行われた。今後はより多くの会員の皆様に利用していただけるよう、サービス内容や実施エリアの拡大等の改善に取り組んでいく。

3. 管理関係

(1) 県連事務局長会議の開催

令和5年12月20日に開催された事務局長会議では、事務局長だけでなく、各会の事務職員にも参加していただき、各会の事務局運営における課題・問題点、法人会事務局強化に向けた意見交換が行われた。